

Neyako style

～生計のリノベーション～

伊勢 / 志摩半島の特徴について

伊勢志摩周辺が抱える課題

手がかり

改善示唆

Neyako Style について



Requirement

Neyako's Information

- 古民家マイホーム
- アクセススムーズ
- 買えばなんとかなる
- 女性が多い
- 先輩移住者多し
- 旬な食材堪能
- いつでも森林浴
- 海から徒歩〇〇分
- 病院近し
- 温泉あり
- 町の伝統行事

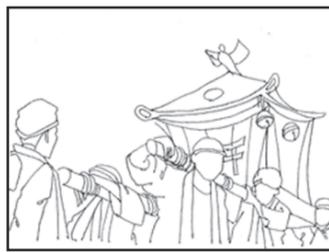
ランキング

- 2013/09/01
★★★★★
- 2013/09/01
★★★★★
- 2013/09/01
★★★★★
- 2013/09/01
★★★★★
- 2013/09/01
★★★★★

ニュース

- 辻 Neyaoya、追加 Neyako 募集再開しました。
- 宮川村の齋藤 Neyako、来月卒業します。
- 梅津 Neyako が新人さんを集めた歓迎会を来月15日開催致します。

Pick up!



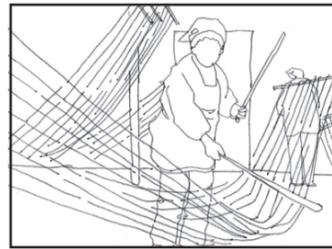
2013/09/01
1年に一度の大賑わい!



2013/08/07
米をゼロからつくってみよう!



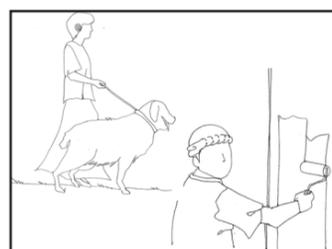
2012/08/02
マイ干物、食べたくないですか?



2012/09/01
ソーメン Neyako!



2012/09/11
食事には困りません。



2012/08/06
大札町の人気者

Neyako モデル インタビュー!



木村 俊克さん (35才)
アーティスト

丸山 Neyaoya でゲストハウスの運営/ウハウを身につけながら、ご自身でもアトリエ付きゲストハウスを開くことを検討中!



齋藤 裕恵さん (38才)
子育てママ

原 Neyaoya で農業手伝いをしながら、子育て環境がいい移住先を探しています。地元の方との仲良くなる方法を公開予定です。



丸島 一貴さん (27才)
農家見習い

大阪で営業マンをしていましたが、体調不良により退職。療養中に知った食事療法に関心を頂き、ご自身で薬草農家を目指す。

検索

最新 Neyaoya を CHECK!

Neyako Official Blog



2012/12/01
伊勢市駅前野菜販売会やります!

Neyako メールマガジン

最新の Neyaoya 情報や Neyako から独立した先輩移住者同士のイベント情報を随々配信!



Neyako Twitter

Neyako.jp [Neyako オフィシャルブログ更新しました] 伊勢市駅前野菜販売会やります!
twd.ac/94F4DE
12 minutes ago · reply · retweet · favorite

Neyako.jp 佐藤 Neyaoya に、今日から辻夫妻が仲間入りしました。佐藤宅で歓迎会を開催します!
2 hours ago · reply · retweet · favorite

Neyako.jp 木村さんが購読 Neyaoya を卒業し、宮川村に移住を計画しているそうです。飯物件情報募集してます!
1 days ago · reply · retweet · favorite



Neyako facebook

自作。胸が熱くなる言葉ですね。最近、伊勢市駅周辺の空き物件が減ってきていて「?」だったのですが、色々調べて判りました。DIYで部屋を作る移住者同士の講習から、実践される方が出てきているようです!
http://matome.naver.jp/ieshi/231947539535 皆さん、本当に



◆伊勢志摩半島の特徴

伊勢神宮を中心とした120を超える神社があり、それに伴って町が発展してきた。「おかげさん通り」と言う名の商店街まで存在している。

- 20年に一度伊勢神宮の式年遷宮
定期的に人の集まる時期が訪れる
- 住民の待ちの姿勢
人が集まることが当然となってしまった住民の消極的姿勢
人口流出による限界農村や中心街の空洞化

2013年に式年遷宮を迎えるが、担い手不足や公共事業の現象により活気を取り戻す要素が不足

(住民の意向) 活気を再び取り戻すための定住人口の増加→Uターン者、旅行者の呼び込み

◆伊勢志摩周辺が抱える課題

- 移住対象者の枠を広げつつも、地域が求めるある程度絞り込んだ人材誘致が必要。
- 新規就業(農業、漁業、その他地場産業)を促進する施策が必要。
- 旧住民と新住民のコミュニケーション機会の創出

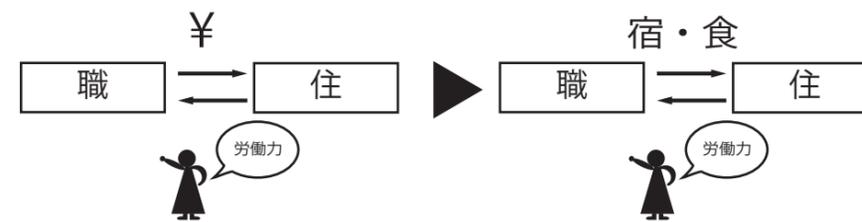
◆手がかり・・・伊勢志摩半島で成立していた寝屋子制度

寝屋子制度とは、中学校を卒業した男子が、両親の揃った家の一室を借りて、5、6人ぐらいで寝泊まりをさせてもらう若者宿制度。寝屋子(中学を卒業した男子)は、数人単位のグループを作り、寝屋親(寝泊まりする先)を選ぶ。共同生活をしながら、10数年間を過ごしグループの中で最初の結婚者(一人前になる証)が出ると、その寝屋子組は解散となる。解散後も一度寝屋子を取った者同士は朋友会を組織して、生涯親交を結ぶ。

この制度が現在も残っているのは答志島のみである。答志島は漁業で生計を立てている。漁業はリスクを伴う危険な仕事であること、経験によって培った知識・技能などを伝授しなければならないことが必要なため、全員で協力しながら寝屋親を支援している。

この制度の特徴は、金銭の授受はないが、「労働力」←→「技術・知識」の授受により成立しているということと、それにより生まれる共同生活で家族以外の新たな関係性を築いていることである。

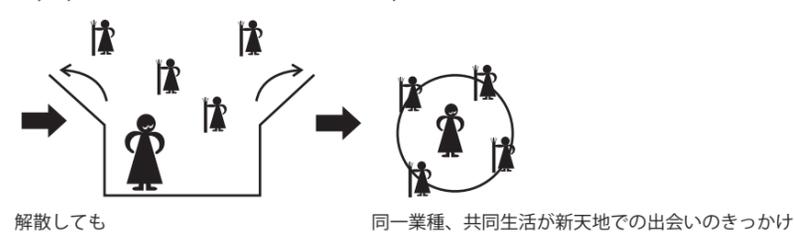
◆改善示唆・・・Neyko style による生計のリノベーションを提案する。



生計を立てるためにお金を手に入れる。
お金によって住環境を成立させる。

住民は働き手を得るために、住・食を提供する。
滞在者は今後の生計を立てるための手段を探すのに、労働力を提供する。

◆NEYAKO STYLE オーナー＝寝屋親は住・食を提供し 滞行者＝寝屋子を集める



◆実現手法

自分にあった生計を探すためのコンテンツを顕在化



寝屋子の仕事

仕事の中身の他に、ココにしかない付加価値を示す住民にとっては、
そこに適した人材が集まるメリットが生まれる。